

令和2年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」実施要項

1 概要

高校と市町村，高等教育機関，産業界等が協働してコンソーシアムを構築し，地域課題の解決等の探究的な学びを通して，地域創生につながる実践的な取組を行うことにより，将来の地域を支える専門的職業人や地域活力の向上に資する人材を育成するとともに，地域振興の核としての高校の一層の機能強化を図る。

2 内容

(1) 実施方法

地域と協働して地域課題の解決等の探究的な学びを実現する実践的な取組を主要内容にするとともに，地域振興の核としての高校の機能強化及び教員の指導力向上も図るプランとする。

ア 国委託事業に公募した高校の中から指定する。

イ 実施においては，連携先との担当者会を開催する。

ウ 年度末には，成果発表会の実施及び成果報告書を各公立高校等に配布し，事業の成果を周知する。

(2) 実施規模

ア 国委託事業の指定校を含め3プラン程度を指定する。

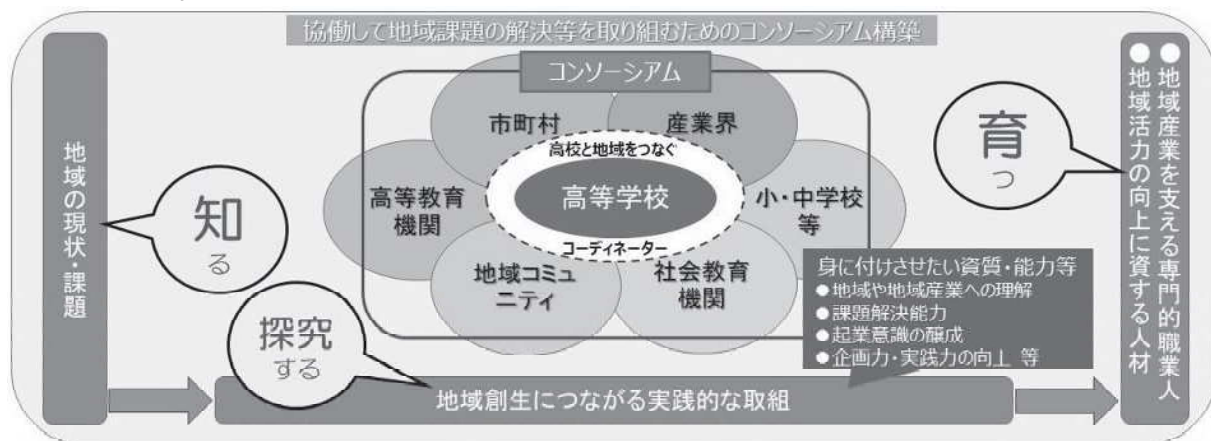
イ 1指定当たりの予算額は50～80万円とする。

ウ 募集は原則として単年度ごとに行う。

(3) 事業のスケジュール



3 イメージ図



4 期待される効果

- 将来の地域産業を支える専門的職業人の育成
- 地域活力の向上に資する人材の育成
- 地域との協働による探究的な学びの実現
- 地域の専門人材の活用等による実践的な職業教育の充実
- コンソーシアムの構築やコーディネーターの活用等による高校と地域との連携強化
- 人間関係形成・社会形成能力や課題対応能力等の基礎的・汎用的能力の育成
- 地域の資源を活用とする起業意識の醸成
- 高校生の地域や地域産業への理解及び地域の学校に対する理解の促進
- 生徒一人一人の企画力・実践力の向上及び学校の活性化
- 成果発表会の実施，成果報告書の配布及び県教育委員会のホームページへの掲載等による事業成果の還元